

平和

中学校 高校
社会 総合

ETV特集

59分

原爆にさわる 被爆をつなぐ ～長崎 戦後70年を生きる被爆二世～

(2015年放送)

この番組の良さ



後生に伝えることの大切さ

被爆二世の中には親から被爆体験を聞いたことがない人も少なくありません。親自身が思い出したくないと考えていたり、差別や偏見を恐れて口に出せなかったり。そうした中で、どう被爆体験を語り継いでいけばいいのか? 悩む二世たちにとって、大きな転機となったのは、長崎原爆被災者協議会会長の谷口稜暉(すみてる)さんを訪ね、原爆で焼けたされた“赤い背中”の跡に触れたことでした。原爆の現実を自分たちの言葉で語ろうと動き始めた被爆二世たちの模索を追います。

被爆二世としての活動

被爆者から引き継いだ語り部として被爆の生々しさをどう伝えるのか。長崎平和宣言の草案を若者に理解してもらうにはどういう表現にすればいいのか。悩んでいた被爆二世たちが『被爆者の思いをそのまま伝えていけばいい』ということに気付いていく過程も見ることができます。

番組活用のポイント

体験談を語り継ぐという難しさ

戦後70年以上が過ぎ、戦争体験者は少数となってきました。学校現場においても全ての教員が戦後生まれであり、戦争体験者はいないのが当たり前です。そういう状況の中で平和教育を推進していく難しさは、どこの学校でも感じるところです。体験者がいるうちに交流し感じておくこと、引き継ぐべきものは? 学校現場で戦争体験者と交流することが困難になってきた今、平和教育を実施していくさまざまな工夫がなされていることでしょう。この番組では、被爆体験していない被爆二世が谷口さんの背中に触れることで、谷口さんが今まで生きてきた上での使命感を感じ取る過程が記録されています。史実を聞いて、それを伝えることの難しさ。被爆者の中にある映像や記憶を未体験者にリアルに伝えるにはどうしたらよいか? その必要性や悩みが描かれています。そういう部分を感じ取りながら視聴していくとよいでしょう。

本時における事前学習として

新学習指導要領(中学校社会科)に「歴史に関わる事象の意味・意義や特色、事象間の関連を説明したり、課題を設けて追究したり、意見交換したりするなどの学習を重視して、思考力、判断力、表現力等を養うとともに、学習内容の確かな理解と定着を図ること。」が内容の取り扱いに記載されています。この番組のキーワードは「つなぐ」ことです。原爆投下の史実を調べまとめること、それを後世に伝える必要性、伝えるために大切なことに気付く機会を、この番組で得ることができます。中学校社会科の歴史的分野の単元などで、視聴前に原爆投下の事実を調べまとめることが必要でしょう。方策として、ティーチャーズ・ライブラリーの『NHKスペシャル “あの子”を訪ねて～長崎・山里小被爆児童の70年～』(2017年度版P.30)や『おはなしのくに いわたくんちのおばあちゃん』(2013年度版P.52)の活用があります。

学習展開例

対象校種：中学校 授業時間 100分

対象教科：総合




宮古島市立
下地中学校
教諭 座間味浩二

新着

原爆の恐ろしさや悲惨さを後世に語り継ぐにはどうしたらよいだろう

平和

児童生徒の思考の流れと活動の流れ	教師の支援と評価
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・長崎と広島に投下された ・放射線の人体への影響 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・日本は唯一の被爆国である ・核兵器を保有している国がある </div> </div> <p style="text-align: center;">被爆者の思いは？</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: 40%;">被爆者本人の思い</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: 40%;">家族の思い</div> </div> <p style="text-align: center;">原爆の被害について調べる</p> <p style="text-align: center;">隣の人に調べたことを伝えよう</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: 40%;">悲惨さが伝わった</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: 40%;">悲惨さがあまり伝わらなかった</div> </div> <p style="text-align: center;">悲惨さが伝わるような映像を見たい</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">  <p>番組まるごと視聴 ・被爆者である親の体験談を聞く、被爆二世の女性</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・進む被爆者の高齢化 ・親の被爆体験をどう次の世代に伝えるかを悩む被爆二世 ・壮絶な被害の現実感 <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">70年以上経っても苦しむ続ける被爆者たちは核兵器廃絶を願い、その家族には、親の被爆体験を後世に語り継いでいかなければならないという強い思いがある</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○原爆について知っていることを尋ねる。 ○以下の点を生徒発表から引き出す。 <ul style="list-style-type: none"> ・核の脅威が現実の問題であること ・被爆者は苦しんでいること ○図書館やWebなどで調べることができるようにする。 ○時間を設定して調べたことをまとめて伝える。 ○被爆者および家族の目線で番組をとらえたい。 ※伝えたい気持ちなどを汲み取る。 <p>【思考・判断・表現】 まとめたことを伝えるため工夫がなされているかどうか。 恒久平和について考えを深めることができたか。</p>

コラム

谷口稜嘩さんの出演番組『赤い背中～原爆を背負い続けた60年～』

本番組に出演した被爆者の谷口稜嘩さんは、2017年8月に88歳で亡くなりました。ティーチャーズ・ライブラリーの『NHKスペシャル 赤い背中～原爆を背負い続けた60年～』（2005年放送）は、この年4月ニューヨークでの核兵器廃絶を求める集会に参加する谷口さんと、毎日その背中に薬を塗る妻の栄子さんの姿を通して、身をもって核兵器廃絶を訴える被爆者の熱い思いを描きました。本番組と関連して活用できます。